



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 株式会社B T M 上場取引所 東
コード番号 5247 URL <https://www.b-tm.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長兼CEO （氏名）田口 雅教
問合せ先責任者 （役職名）管理事業推進本部長 （氏名）北川 雅章 TEL 03 (5784) 0456
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	1,553	15.3	32	136.2	29	141.6	14	97.1
2026年3月期第1四半期	1,347	—	13	—	12	—	7	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 14百万円（97.1％） 2026年3月期第1四半期 7百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	5.23	5.09
2026年3月期第1四半期	2.65	2.57

（注）2025年3月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、2026年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	2,163	739	34.2
2026年3月期	2,053	725	35.3

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 739百万円 2026年3月期 725百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 7,001	% 16.0	百万円 124	% 15.1	百万円 118	% 17.3	百万円 66	% 1.9	円 銭 23.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	2,827,000株	2026年3月期	2,827,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	10,158株	2026年3月期	10,158株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	2,816,842株	2026年3月期1Q	2,816,842株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、人手不足を背景とした企業の設備投資の増加や賃金の上昇などを背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢や円安を背景とした物価の上昇に加え、日本銀行による政策金利の引き上げなど、企業経営を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループのDX推進事業を取り巻く環境は、日本の労働人口の減少が企業の生産活動に大きく影響するという危機感から多くの企業においてDXへの投資意欲が高まっております。国内のDX関連市場は2023年度4兆197億円から2030年度8兆350億円まで拡大するという予測（出所：株式会社富士キメラ総研）があり、ビジネスモデルの変革に向けたDX・ITニーズはさらに高まるものと判断しております。

また、国内のAIシステム市場においても2024年1兆763億円から2028年2兆8,911億円（出所：IDC Japan）と急激な成長が見込まれており、AIを活用したDX推進がさらに加速していくものと判断しております。

このような環境のもとで、当社グループではミッションである「日本の全世代を活性化する」を推進すべく、前連結会計年度より継続して積極的に人材投資、技術・事業開発及びM&A投資を実施いたしました。人材投資ではエンジニアの採用強化に加え、離職防止を目的とした昇給の実施のほか、事業を牽引する幹部人材及び、営業の増員等を行いました。また、外部協力企業やフリーランスエンジニアの開拓を行い、ネットワークを強化することで柔軟な開発体制基盤を構築し、既存顧客との取引継続及び新規顧客の獲得に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,553,999千円（前年同期比15.3%増）、売上総利益257,263千円（前年同期比26.1%増）、営業利益32,715千円（前年同期比136.2%増）、経常利益29,451千円（前年同期比141.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益14,733千円（前年同期比97.1%増）となりました。

なお、当社グループはDX推進事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は2,163,361千円となり、前連結会計年度末に比べ110,198千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加190,743千円及び売掛金及び契約資産の減少70,153千円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,423,625千円となり、前連結会計年度末に比べ95,465千円増加いたしました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定を含む）の増加174,998千円、買掛金の減少48,041千円及び未払法人税等の減少14,756千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は739,735千円となり、前連結会計年度末に比べ14,733千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによる利益剰余金の増加14,733千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月15日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	949,168	1,139,911
売掛金及び契約資産	874,398	804,244
その他	23,163	17,146
流動資産合計	1,846,731	1,961,303
固定資産		
有形固定資産	10,846	10,234
無形固定資産		
のれん	111,982	108,928
無形固定資産合計	111,982	108,928
投資その他の資産	83,226	82,543
固定資産合計	206,054	201,706
繰延資産	377	352
資産合計	2,053,163	2,163,361
負債の部		
流動負債		
買掛金	427,617	379,575
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	87,503	141,722
未払法人税等	32,806	18,050
品質保証引当金	1,400	1,400
その他	242,173	225,438
流動負債合計	1,091,499	1,066,185
固定負債		
長期借入金	236,661	357,440
固定負債合計	236,661	357,440
負債合計	1,328,160	1,423,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	182,037	182,037
資本剰余金	172,037	172,037
利益剰余金	378,292	393,025
自己株式	△7,365	△7,365
株主資本合計	725,002	739,735
純資産合計	725,002	739,735
負債純資産合計	2,053,163	2,163,361

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,347,612	1,553,999
売上原価	1,143,529	1,296,736
売上総利益	204,083	257,263
販売費及び一般管理費	190,235	224,548
営業利益	13,848	32,715
営業外収益		
受取手数料	109	119
その他	0	1
営業外収益合計	109	120
営業外費用		
支払利息	1,560	3,209
その他	205	174
営業外費用合計	1,766	3,384
経常利益	12,191	29,451
税金等調整前四半期純利益	12,191	29,451
法人税等	4,715	14,718
四半期純利益	7,475	14,733
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,475	14,733

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	7,475	14,733
四半期包括利益	7,475	14,733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,475	14,733
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,122千円	1,275千円
のれんの償却額	476	3,053

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、DX推進事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。